領 域	専門分野Ⅱ	授業科目	成人看護学概論	単位（授業時間／時間数）	１（２８／３０）
開講年次	１年次	開講時期	通年	授業回数	１４回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床（病院）での看護師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

本科目は成人看護学の導入となる科目である。変革の時代を生きる大人を対象に、その人にとって最適な健康を維持・増進するための考え方と看護援助を学ぶ。

授業目標

1. 成人の生活と健康を理解する。
2. 成人看護の基本となる考え方や方法論を理解する。
3. 成人の健康レベルに対応した看護を理解する。
4. 成人の健康生活を回復・維持・促進するための看護技術を理解する。

授業概要

以下の予定であるが、学生の受講状況により変更することがある。

回	目　標
1･2	「成人看護学」分野で用いられている成人の特徴の概要を理解したうえで、「成人」であることを自覚する状況について説明できる。
3･4	成長発達の特徴を下記の視点で理解しながら説明できる。 「成人の成長発達」「成人の役割」　「成人各期の問題」　「成人と死」 「個人の成長発達のアセスメントの視点」
5･6	成人各期の身体機能の特徴を理解し、身体機能の変化を分析する視点を説明できる。
7･8 9･10	成人期にみられる健康障害を理解し、成人の生活、健康観、おとなの学びの特徴を、理論を用いて説明できる。 ＊生活習慣病を軸として学習展開をします。
11･12 13	成人の看護に有用な「病みの軌跡」「セルフケア」「ストレス」「危機」「自己効力」「ヘルスプロモーション」の概念を理解し説明できる。
14	「新たな治療法、先進医療と看護」を理解する。　　まとめ

授業の進め方

看護を学ぶ学生は成人期にある。教科書を読み、社会情勢に関心を持ち、考えながら学んでいただきたい。学びの経験を促すためにレポート課題、プレテストを取り入れている。授業資料、必要時に資料等を配布するが、教科書を軸として授業展開するので隅から隅まで読み込んで授業に臨んでください。

教科書

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学〔1〕成人看護学総論（医学書院）

参考図書

国民衛生の動向（厚生統計協会）
ナーシング・グラフィカ　成人看護学〔1〕成人看護学概論（メディカ出版）
犠牲(サクリファイス)　柳田邦夫（文春文庫）

評価方法

終講時 客観的テスト(100 点)、演習・レポート・プレテスト・出席状況を踏まえて総合的に評価します。
試験時間は時間数に含みます。（課題１時間、試験１時間）